

第1学年 音楽科学習指導案

指導者 小林 祥子

1 題材名 ようすをおもいうかべよう

2 題材の目標

楽曲の気分を感じ取りながら想像豊かに聴いたり、歌詞の表す様子や気持ちを想像して思いをもって表現したりする。

3 主な〔共通事項〕

- (ア) 音色、旋律、速度、強弱
- (イ) 変化

4 題材設定の意図

第1学年では、様々な音楽に親しんだり、音楽表現の楽しさに気付いたりすることを目標としている。これまでに、鑑賞教材「しろくまのジェンカ」「みつばちのぼうけん」「シンコペーテッドクロック」を通して、〔共通事項〕(ア)音楽を特徴付けている要素の音色や旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ってきている。歌唱については、「かたつむり」「ぶんぶんぶん」「うみ」において、歌詞の表す情景や楽曲の気分を味わって歌う経験を積んできた。本題材では、鑑賞において、〔共通事項〕(ア)音楽を特徴付けている要素の速度、(イ)変化を学習し、それらが醸し出す音楽的效果を歌唱に生かして表現する活動を通して、様々な音楽に親しんだり、音楽表現の楽しさに気付いたりすることができるようにしたいと考える。

本学級の児童は、これまでに「さんぽ」や「しろくまのジェンカ」の鑑賞において、音楽に合わせて行進をしたりダンスをしたりする活動に躊躇することなく全身で楽しんできた。また、歌唱の「かたつむり」では、実際にカタツムリを見たりその様子を思い出しながら、声の出し方や大きさ、速さを考えながら歌った。「うみ」では、教室から一望できる太平洋を眺めながら歌うなど、情景や気持ちに合わせた歌い方が身に付きつつある。

そこで、本題材では、まず、鑑賞曲「おどるこねこ」において、特に、音楽を特徴付けている要素の「音色」「強弱」「速度」に絞って、それぞれの効果や役割について聴き取ったり、感じ取ったりさせたい。そして、歌唱曲「はる なつ あき ふゆ」では、歌詞の表す様子や気持ちを想像し、声色（音色）や強弱、速度を工夫して表現する活動へとつなげていく。そのために、グループごとに拡大した歌詞カードを与え、キーワードとなる歌詞をピックアップし、どのように歌うか書き込みをすることで、グループの中での学び合いや共通理解を図れるようにする。さらに、発表会を通して、他のグループの表現の工夫に気付き、自らも取り入れて表現する活動を行う。このような鑑賞及び表現の活動を通して、楽曲の気分を感じ取りながら想像豊かに聴いたり、歌詞の表す様子や気持ちを想像して思いをもって表現したりすることで、様々な音楽に親しんだり、音楽表現の楽しさに気付いたりできるようにしたいと考える。

5 教材について

（鑑賞）「おどるこねこ」 アンダソン 作曲

（表）「はる なつ あき ふゆ」 三浦 真理 作詞・作曲

6 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①場面の様子を思い浮かべながら聴く学習	①歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、音	①歌詞の表す情景や気持ちに合った表現で	①音色、旋律、速度、強弱、変化を聴き取

に進んで取り組もうとしている。 ②歌詞の表す情景や気持ちを想像し、思いをもって歌う学習に進んで取り組もうとしている。	色、強弱、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。	歌っている。	り、その働きから、楽曲の気分を感じ取ったり場面の様子を想像したりしながら聴いている。
---	---	--------	--

7 学習活動と評価の計画（5時間扱い）

次	ねらい	主な学習活動	〔共通事項〕	題材の評価規準
第1次 (2)	○楽曲の気分を感じ取ったり、場面の様子を想像したりしながら、想像豊かに聴く。	 「おどるこねこ」 ・楽曲の気分を感じ取る。 ・場面の様子を想像する。 ・楽曲の気分や場面の様子などについてグループで話し合う。 ・音楽に合わせて体を動かす。	音色 旋律 速度 強弱 変化	アー① エー①
第2次 (3)	歌詞の表す情景や気持ちを想像して、歌い方を工夫する。	 「はる なつ あき ふゆ」 ・歌詞を朗読し、歌詞の内容について話し合う。 ・範唱を聴いて歌う。 ・グループごとに歌詞の内容に合わせた歌い方の工夫をする。 ・グループごとに発表する。	音色 速度 強弱	アー② イー① ウー①

8 本時の学習（第2次、第2時）

(1) ねらい

グループごとに、歌詞の表す情景や気持ちを想像し、歌い方を工夫する活動を通して、どのように歌うかについて思いをもつ。

(2) 準備・資料

書き込み用歌詞カード、カラーペン、「音色」「強弱」「速度」の効果をまとめた掲示物

(3) 展開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ（◆評価規準）
1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> きせつのイメージがつたわるようにうたうくふうをしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 「おどるこねこ」を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「音色」「強弱」「速度」について効果をまとめた掲示物を提示し、これらを歌に生かすよう助言し、見通しをもって活動できるようにする。
2 グループごとに歌い方を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> 歌詞カードにカラーペンで歌い方を話し合いながら書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> 様子や気持ちが伝わる表現にするために、「音色」「強弱」「速度」を基に考えるように助言し、グル

<p><予想される児童の反応></p> <p>はるグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆれる…ゆっくり（速度） ・ふわり…やわらかく（音色） やさしく（強弱） <p>なつグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおきな…大きな声（強弱） ・くじら…ゆったり（速度） ・ざぶんと…力強く（音色） ・きらきら…明るく（音色） <p>あきグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょろり…すばやく（速度） 小さいイメージ（強弱） かわいらしく（音色） ・いそいで…はやく（速度） <p>ふゆグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちいさな…小さい声で（強弱） ・ひかる…きれいな声（音色） ・つめたい…さむそうに（音色，強弱） 	<p>ープ活動がスムーズに進むようにする。</p> <p>○グループでの話し合いに全員が関わるように、一つの言葉について一人ずつどんなふうに歌いたいか伝えるように助言する。</p> <p>○歌詞に「音色」「強弱」「速度」に関するキーワードが無い場合でも、その季節のイメージや全体的な歌詞から想像されるイメージも書き込むよう助言する。</p> <p>○自分のイメージと違うことを友達が提案した場合は、「どうしてそう思うのか」と質問し、理由を出し合う中で意見をまとめていくよう助言する。</p> <p>○音楽的な言葉を引き出すために、書き込みや話し合いの様子を観察し、理由を確かめる。</p>
<p>3 季節のイメージが伝わるように歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ったことを基に、実際に歌って試す。 ・どのように歌うかについて自分の考えや願いをもつ。 	<p>○次時が発表であることを告げ、練習意欲を高める。</p> <p>○話し合った歌い方の工夫を基に、実際に歌って試すことを通して、どのように歌うかについて自分の考えや願いがもてるようになる。</p> <p>◆歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、音色、強弱、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取ったりして表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願いをもっている。【イー① 観察、歌詞カード】</p> <p>○本時の活動の様子を称賛し、次時の活動を励ます。</p>
<p>4 本時のまとめをする。</p>	